

コミュニティ・エンパワメントにおいて
住民組織と関わる保健医療専門職の実践に関する文献研究
—社会福祉協議会職員の実践との関連—

○県立広島大学大学院 平中 千亮 (010455)

細羽 竜也 (県立広島大学・005039)、越智 あゆみ (県立広島大学・005018)

キーワード：コミュニティ・エンパワメント、住民組織、社会福祉協議会職員

1. 研究目的

近年、国は地域福祉に係る様々な施策を打ち出している。その中で、地域住民が地域の課題を我が事として捉え、課題解決を目指して参加する、地域住民の主体形成への取り組みが注目されている。一方、市町村社会福祉協議会（以下、社協）では、これまで地域住民の主体形成を目指した実践を行ってきた。しかし、その実践は短期間に成果が表れるものばかりではなく、多様な主体に働きかけることから、成果が見えにくくなっている。地域住民の主体形成を目指した実践の成果の評価方法については、様々な観点から研究がなされており、明確な評価基準を設けることは難しい状況であると推察される。

発表者らは、住民の主体形成を評価する概念として、コミュニティ・エンパワメント（Community Empowerment、以下、CE）に着目した。CEの定義の1つに、「住民組織の人々が自分達と地域の人々に共通の保健上の課題に気づき、その改善や well-being の実現に向けて、組織内のみでなく、地域に向けて行動をおこし、影響を与えていく過程であり、その結果を含むもの」¹⁾がある。発表者らがCEの概念に関する文献研究を行った結果、CEの目的は、①人々自身の変化、②地域・集団・組織・社会の変化、③自身と自身を取り巻く環境の変化の3つのカテゴリーに分類できた²⁾。人々の変化に加えグループや地域の変化を志向する点は、社協職員が目指す実践と類似していることから、CEの概念を活用することが可能ではないかと考えた。

そこで、本研究では、CEにおける保健医療専門職に求められる実践内容を明らかにすることを目的とする。結果をもとに、社協職員の実践内容と照らし合わせて考察を行う。

2. 研究の視点および方法

本研究の方法は、文献研究である。文献検索サイトとして、CiNii、医学中央雑誌 Web版、CINAHL/MEDLINE を用いた。検索期間は1993年1月～2025年5月とした。キーワードは、CiNii と医学中央雑誌 Web版では、「コミュニティ・エンパワメント」OR「地域 AND エンパワメント」AND「組織」OR「住民組織」OR「専門職」OR「支援」で検索した。CINAHL/MEDLINE では「community empowerment」AND「organization」AND「resident」で検索した。

本研究の分析方法は、質的内容分析である。具体的には、選定した文献から、保健医療専門職が住民に働きかける実践に関する記述内容を抽出し、その共通性に基づき分類した。

3. 倫理的配慮

本研究は、日本社会福祉学会研究倫理規定を遵守したものである。本報告に関して、開示すべきCOIはない。

4. 研究結果

(1) 文献の抽出結果

データベースから 1255 件の文献が抽出された。そのうち、あらかじめ定めた選定・除外基準に照らして、最終的に 10 件を選定した。

(2) 文献の分類結果

保健医療専門職の実践に関する記述内容を抽出し、その共通性に基づきグループ分けし、記述されている文献が多い順に並べた。その結果、①住民組織や活動の目的、目標、意義を共有すること（5 件）、②活動の評価を行えるよう支援すること（4 件）、③情報の提供を行うこと（4 件）、④話し合いの場を設定することや、話し合いの場における実践内容（3 件）、⑤住民組織と、地域内外の関係者や他機関との連携を促すこと（3 件）、⑥住民と一緒に活動を行うこと（3 件）、⑦役割を意識できるように促すこと（3 件）、⑧知識やスキルを提供すること（3 件）の 8 グループが抽出された。

5. 考察

「社会福祉協議会基本要項 2025」³⁾では、社会福祉協議会の機能の 1 つに、「組織化、連絡調整」をあげている。そこでは、住民や地域の関係者などの対話や協議をする場づくりや協働による取り組みによる組織化や、多様な主体間の連絡調整を行うことがあげられている。このことは、本研究において抽出された 8 つのグループのうち、「④話し合いの場を設定することや、話し合いの場における実践内容」、「⑤住民組織と、地域内外の関係者や他機関との連携を促すこと」、「⑥住民と一緒に活動を行うこと」において、類似していた。保健医療専門職においても、住民を主体と捉え、課題の解決に向けた住民組織への支援を行っていることが確認でき、社協職員の実践内容との共通性を見出すことができた。

【文献】

- 1) 中山貴美子（2007）「保健専門職による住民組織のコミュニティ・エンパワメント過程の質的評価指標の開発」『日本地域看護学会誌』10（1），49－58.
- 2) 平中千亮・細羽竜也ほか（2025）「コミュニティ・エンパワメントの概念に関する文献研究－エンパワメント並びに地域を基盤としたソーシャルワーク実践との共通点に着目して－」『人間と科学 県立広島大学保健福祉学部誌』25（1），35－47.
- 3) 社会福祉法人全国社会福祉協議会（2025）「社会福祉協議会基本要項 2025」(<https://www.zcwvc.net/wp/wp-content/uploads/2025/03/01.%E5%9F%BA%E6%9C%AC%E8%A6%81%E9%A0%852025.pdf>, 2025-5-27).